

社会科

社会科（歴史的分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 社会科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。
- 3 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、社会的事象に対して興味・関心を高める工夫がみられ、観察・調査・体験等の活動やそれに基づく問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- 4 公共の精神，社会参画，伝統と文化の尊重，我が国と郷土を愛すること，宗教及び社会の変化に対応した内容の取り扱いについて配慮されているとともに，全体の分量が適切であること。
- 5 広い視野をもち，異文化を理解し尊重する態度や，異なる文化をもった人々と共に生きていく資質や能力の育成を図るための工夫がされていること。
- 6 歴史的分野については，歴史的事象に対する関心を高め，我が国の歴史の大きな流れを，各時代の特色を踏まえて理解させ，我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに，国民としての自覚を育てるための工夫がされていること。
- 7 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう，探究意欲を高める工夫や，学んだことを活用して，さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。
- 8 単元構成の系統性・発展性や各分野の関連性及び他教科，道徳，総合的な学習の時間，特別活動，他校種，また，環境教育，情報教育，生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。
- 9 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ，人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 10 表記や表現について，文章や写真，図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え，ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ，見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており，造本についても装丁や編集が適切なものであること。

社会科（歴史的分野）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新編 新しい社会 歴史」

冒頭に、写真や大きめの図版等を豊富に掲載し、各単元の内容に対する関心・意欲を高めるための効果的な工夫がなされるとともに、全体を通して、各時間の学習課題の明示やわかりやすい本文、豊富な資料など、生徒が意欲的に学習内容を理解できるよう工夫されている。

多彩な写真や資料等により、各時代の特徴を捉え、考察を促すよう工夫されており、また、各時間の学習内容について、語句指定や字数制限を付して説明・要約する課題を設定するとともに、各時代の特色や変化を考察し、説明するといった言語活動を伴う課題を設けるなど、思考力や表現力を育成するための工夫がなされている。

表紙見返しに、国宝・重文が紹介されるとともに、本編各ページでも、国宝・重文・世界遺産にはマークが付され、また、現代にも継承される伝統文化を扱うコーナーを設定するなど、我が国の伝統文化に対する関心を喚起し、理解を深めるための工夫がなされている。さらに、神話や文化財等の学習に加え、身近な地域の歴史を調べるための特設コーナーを設け、地域の将来を考え、積極的に地域づくりに参画することなどを通して、我が国と郷土を愛する態度を養うよう優れた工夫がなされている。

各時間の学習内容と小学校での既習事項との関連を示すことに加え、歴史の流れについて、人物画などを辿りながら概観するとともに、前の時代の章末と次の時代の章始めの年表をつなげることにより、歴史の大きな流れやつながりを意識し、捉えることができるよう工夫しており、我が国の歴史に対する愛情を深めるための優れた工夫がなされている。

章始めに、小学校既習事項を掲載し、それと連続性を持たせた年表を章末に記載するなど、小学校との関連についての提示が充実しており、優れている。

「選定の視点」の評価結果：◎4 ○2 6 △0

■教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」

各時代で写真や資料等が効果的に配置され、その特徴を考えるよう促すとともに、学習課題の提示が明確で、考えやすい説明がなされている。また、まとめのページでは、「確かめよう」と題し、様々なアプローチで学習内容を振り返られるよう工夫されるとともに、各時間の振り返り活動が、ステップ1・2と2段階で設定され、習熟度に応じて取り組めるよう工夫され、優れている。

各時間の振り返り活動で、学習内容を活用して説明する課題が設定するとともに、各章ごとの「学習のまとめと表現」では、各時代のできごとや動きについて資料をもとに時代の変化に注目し、自分の言葉で説明する課題を設けるなど、多様な言語活動が充実しており、優れている。また、郷土・資料・人物・地域・世界の5つのテーマから歴史を掘り下げる特設ページを設けるなど、探究的・問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。

国宝・重文・世界遺産にはマークが付けられており、その意義や継承に対する大切さを認識す

るとともに、我が国の伝統文化に対する理解を深められるよう工夫されている。また、小学校既習の人物と文化財の組み合わせでグループをつくり、時代を大観させるとともに、各章始めの扉に絵画などの歴史的資料を掲載し、その時代への関心を高める工夫がなされるなど、我が国の歴史に対する愛情を深めるよう工夫されている。

「選定の視点」の評価結果：◎2 ○28 △0

■清水書院「中学 歴史 日本の歴史と世界」

各時間において、学習課題とまとめ課題をそれぞれ同じ形の枠内に収めてわかりやすく提示することで、学習の見通しが持ちやすいよう構成するとともに、各時間のまとめには、学習内容を文章でまとめたり、表に整理したりする課題を設けるなど、考察を深めるための工夫がなされている。ただし、各時代で、特徴を示す写真や資料等が効果的に配置されているが、資料が本文のどの部分と関連しているのか表記されていないため、わかりづらく、調べ学習等の際に使いにくい。

各時代の特色等について、指定された語句を使って説明するといった言語活動を伴う課題が設定されるとともに、「歴史のとびら」において、各種資料の扱い方や読み取り方、歴史研究における留意点等を示し、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。

世界文化遺産や国宝の写真にそれぞれマークを付して注目させ、我が国の伝統文化について学習を深めるよう工夫されるとともに、多くの生徒が知っていると思われる主要人物についてのトピックスを掲載し、時代の流れを概観しながら関心を高めるよう工夫され、我が国の歴史に対する愛情を深めるよう配慮がなされている。

歴史学習のはじめには「Yチャート」として、思考の流れやまとめ方を例示するなど、他教科にも活かせるよう学習方法が示されている。

「選定の視点」の評価結果：◎0 ○29 △1

■帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」

多彩な写真や資料等を豊富に掲載し、各時代の特徴を捉え、考察を促すとともに、各時間で、「確認しよう」、「説明しよう」と2段階でまとめが設定され、習熟度に応じて学習に取り組めるよう優れた工夫がなされている。また、各時間での言語活動に加え、レポートのまとめ方や発表の仕方を例示するとともに、「トライアル歴史」において、「やってみよう」との課題を設け、資料をもとに思考したことを表現する活動が設けられるなど、言語活動の充実が図られており、優れている。さらに、各所に「歴史を探ろう」「技能をみがく」を配置し、各時代の衣食住の様子から学習を深めたり、地理の学習に必要な読図や作図等の技能を習得するための内容が豊富で、発展的な学習へつなぐ工夫が優れている。

様々な文化財や芸術、身近な地域の伝統行事や祭りとともに、各時代の文化史を大判の写真等を用いて紹介するなど、伝統文化についての記述が充実しており、理解と関心を高めるための工夫が優れている。また、神話を紹介するコーナーに加え、多数設定された「地域史」に関するコラムや、身近な地域の歴史を調べる特設コーナーの設置、さらには、学習内容を深める特設ペー

ジで、様々な地域に伝わる伝統文化の具体例を取り上げるなど、我が国と郷土を愛する態度を養うための工夫が充実している。

各章はじめには、各時代の様子をまとめたオリジナルな絵が提示され、時代の流れを考えることができるとともに、各ページの図や資料が豊富で、我が国の歴史に対する愛情を深められるよう配慮がなされている。

「選定の視点」の評価結果：◎5 ○25 △0

■日本文教出版「中学社会 歴史的分野」

全体を通して、写真等を豊富に掲載するとともに、各単元の写真や資料も多く効果的に配置されている。また、各時間や各章のまとめでは、課題が提示され、基本的な学習内容の確認と活用という学習の流れを意識した構成になっており、学習の見通しが立てやすいとともに、各時間のまとめが、学習の「確認」と「活用」の2段階で設定され、習熟度に応じて取り組めるよう工夫され、優れている。

各時間での言語活動に加え、図版の内容について読み取る・考える・伝えるための「言語活動コーナー」を随所に配置し、思考・判断・表現する活動の充実を図るとともに、具体的な各時代の転換について考察し伝え合う課題設定や、各時代の特色について考える課題を設定するなど、多様な学習課題による言語活動が充実しており、優れている。また、各時代はじめに、「とらえよう時代の転換」を配置し、時代の変化の特徴を多面的に捉え、自分の言葉で説明する課題が設定されるとともに、「歴史を掘り下げよう」を効果的に配置するなど、探究意欲を高める工夫が豊富である。さらに、巻末に集められた基礎資料を学習途中で確認することができるなど、発展的な学習へつなぐ工夫が優れている。

特設コーナー「先人に学ぶ」を複数設定し、文化の発展に取り組んできた先人の姿を紹介するとともに、各時代の文化史をわかりやすくまとめた資料の掲載や、「図版特集」では、衣食住に焦点をあて、伝統文化と現代の生活とのつながりを意識し、考えることができるよう工夫されるなど、我が国の伝統文化についての学習を深めるための工夫が優れている。

各編はじめに、「とらえよう時代の転換」として、その時代の特徴を感じ取ることができる大きな図版を提示するなど、豊富な資料を随所に提示するとともに、各時代のまとまりを小学校での既習事項の各時代の人々の服装や人物・文化財で示し、歴史の大きな流れを理解しやすくする配慮がなされるなど、我が国の歴史に対する愛情を深めるための優れた工夫がなされている。

「選定の視点」の評価結果：◎9 ○21 △0

■自由社「新版 新しい歴史教科書」

各章ごとに「歴史豆辞典」や「100 字用語辞典」とともに、まとめの課題を提示しており、本文中にも各事象について細かな説明がなされるなど、基礎基本の定着への配慮がなされているが、資料が本文のどの部分と関連しているのか表記されていないため、わかりづらく、調べ学習等の際に使いにくい。また、各時代で写真や資料等が掲載されているが、関連付けや関心を高めるための工夫が不足している。

各時代の特色を字数制限で作文する課題や各時代の事柄について意見交換するための課題を設けるなど、言語活動の充実を図る配慮がなされている。また、各章におけるまとめにおいて、時代の特徴を会話風に紹介し、ひとこと作文や意見交換会を行い、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。

最後の小単元「21世紀の日本の進路」で、国際情勢の中で日本の役割や進むべき道を提示し、社会の変化を学習するとともに、コラムを各所に設けるなど、公共の精神を持って、主体的に社会参画していく態度を養えるよう工夫がなされている。また、コラムで浮世絵が世界で評価されている事例を挙げるなど、我が国の伝統文化を尊重する態度を育めるよう配慮されている。

特設コラム「もっと知りたい」を随所に設け、歴史的事象に対する関心を高め、歴史の流れをつかむための補完的な役割を果たすよう配慮されるとともに、戦争に至った経緯等を天皇の役割を中心に詳しく説明し、国際平和に向けた日本の動きについてわかりやすく記述するなど、我が国の歴史に対する愛情を深めるよう工夫されている。

外国から見た日本の姿を紹介するコラムや先人の考え方や生き方を紹介するコラムを設けるなど、各時代で規範意識や社会参画、公共の精神にかかる概念やそのために尽くすことの大切さについて、コラムを中心に紹介しており、道德教育との関連が豊富で充実している。

再生紙の使用等の環境配慮やユニバーサルデザインへの配慮はなされていない。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○2 6 △3

■育鵬社「新編 新しい日本の歴史」

全体を通して、写真等が豊富で、各単元の写真や資料も多く効果的に配置されており、生徒の関心・意欲を高めるための工夫が充実している。ただし、資料が本文のどの部分と関連しているのか表記されていないため、調べ学習等の際に使いにくい。

各時間のページの上段に導入の図版とまとめの図版が併記され、基礎基本の習得が図れるよう工夫されるとともに、各時代の人物、変化や特色を自分なりに説明したり、話し合ったりする課題や各時代の歴史を大観してまとめる課題を設けるなど、言語活動の充実が図られている。また、特設ページ「課題学習」を各所に設け、地域調査や調べ学習など、自分たちで取り組む課題を示し、問題解決的な学習の展開に向けた工夫がなされている。

巻頭の6ページにわたって、各時代の国宝級の文化財の写真を豊富に掲載するとともに、本編の文化史のページでも写真や資料を数多く取り上げるなど、関連資料等が充実しており、我が国の伝統文化への関心を高めるための工夫が優れている。さらに、「歴史ズームイン」においては、文化や技術等について詳しく紹介し、発展的な学習につながるよう工夫されている。

各章の始めに「歴史絵巻」というコーナーを設け、時代を俯瞰して歴史の大きな流れや特色をつかませるよう工夫され、また、世界史的な視野で我が国の歴史への関心を高めるとともに、我が国の文化や歴史が世界史に与えた影響について積極的に取り上げるなど、我が国の歴史への関心や愛情を深めるよう工夫されている。

歴史を築いた人物や女性の活躍、世界に影響を与えた日本文化を多彩に取り上げ、我が国の豊かな伝統と文化等を実感させるなど、道德教育との関連を図る工夫がなされている。

「選定の視点」の評価結果：◎3 ○2 6 △1

■学び舎「ともに学ぶ人間の歴史」

各時間の見出しの語句には、その時代の内容の理解につながる語句が明記されているが、課題の提示や振り返りとしての確認や説明を行う設定がなされていない。また、各時代で写真や資料等が掲載されているが、関連付けや関心を高めるための工夫が不足しているとともに、資料が本文のどの部分と関連しているのか表記がないため、わかりづらく、調べ学習等の際に使いにくい。

年表やポスターに、まとめ方の例を示すなど、言語活動の展開に配慮されているが、各所やコーナーには設定されていない。また、観察や調査等の活動的・体験的な学習課題の設定や工夫も不足しており、発展的な学習への展開に向けた工夫も不十分である。

古文書、絵巻、屏風などの図版から文化に親しみ、今日につながる建築や芸能、文芸、行事等の伝統文化が形成された過程を理解できるよう工夫されるとともに、文化を生み出した人々の願いや社会の状況を具体的に記述することで、伝統文化を尊重する態度の育成につながる工夫がなされている。また、世界史の中でも、特に、東アジア、韓国・朝鮮や中国との歴史や交流等を重視した記述が充実している。

各部のまとめにおいて、年表のまとめ方や話し合いの切り口などを示すことで、歴史の大きな流れをつかみ、特色を理解するための工夫がなされているが、学習のはじめに歴史の流れを大観する工夫が不足している。

大きな教科書サイズ（A版）を採用しているが、サイズ、重量とも、持ち帰りに適していない。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○19 △10

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。